

# ダイバーシティ通信

2025  
10月号

## ダイバーシティ宣言から3年——共に進める包摂的な大学づくり

ダイバーシティ推進担当副学長 寺田 由美

2022年に「北九州市立大学ダイバーシティ宣言」を掲げてから、早くも3年が経ちました。今年度実施した認知度アンケートからは、この宣言に基づいた取り組みが着実に学内に定着しつつあることが感じられ、大変うれしく思っています。

これまで北方・ひびきの両キャンパスでは、教職員向けの啓発研修や、ダイバーシティ週間にあわせた障がいのある方のアート展示など、多様性への理解を深める取り組みを継続してきました。本年度も12月上旬にダイバーシティ週間を実施予定で、北方・ひびきのキャンパスあわせて約50点のアート作品の展示を計画しています。現在（10月）は、学生や教職員の皆さんを対象に、展示作品選定のためのアンケートを実施しているところです。また、北方キャンパスでは福祉事業所によるパンやお菓子、雑貨の販売も予定されています。多様性について知り・感じる、よい機会になればと思います。

加えて、コロナ禍を経て、海外協定校からの留学生の受け入れも、徐々に回復してきました。2025年2学期には、台湾・韓国・タイ・カンボジア・イギリス・アメリカ・オー

ストラリア・ドイツから、計44名の留学生を迎えることになりました。学内でもすでに交流が生まれており、互いの文化への理解や尊重の気持ちが育まれているようです。こうした異文化交流を通じて、相互理解と相手への尊重の心が自然と育まれることを願っています。

世界を見渡すと、DEI（多様性・公正性・包摂性）の理念に逆風が吹いている地域もありますが、本学ではこれからも、DEIの考え方を大切にしながら、多様な価値観や背景を持つ人びとが共に学び、働き、成長できる環境づくりを進めていきます。

2027年度には新学部が誕生し、北方・ひびきのキャンパスに加えて、旦過キャンパスも開設される予定です。これに伴い、キャンパス間の情報共有・連携の強化がいっそう重要な課題となります。また、バリアフリーや環境に配慮した施設整備を進め、誰もが安心して学べる環境づくりにも力を注いでまいります。

「ひとりひとりの違いを大切にし、尊重しあえる、開かれた大学」へ。みなさんとともに、その実現を目指していききたいと思っています。

## 入試業務従事者に対する託児サービス はじめました♪

### 実施日時

- ① 2025年11月30日（日）学校推薦型・社会人特別選抜
  - ② 2026年 1月18日（日）大学入学共通テスト（2日目）
  - ③ 2026年 2月 8日（日）外国人留学生・帰国子女学生特別選抜
- ※ 実施時間は、原則として全て7時30分～17時30分。

対象児童: 乳幼児（生後7ヶ月）から小学校6年生までの児童

利用料金: 無料（大学が負担）

北方・  
ひびきの  
キャンパス

おススメ!



## ダイバーシティ推進協力員からのメッセージ（第4弾）

### 野見山 浩行

（学術振興課教務第二係）

学術振興課における教務事務では、教職員や学生との協働が不可欠です。その中で、関わる方一人ひとりの個性や背景を尊重する姿勢を大切にしています。協力員として、掲示物へのUDフォント使用など、取り組みやすいところからダイバーシティ推進に努めてまいります。

### 山本 恵

（入試・研究支援課 研究支援係）

研究支援係の職員として、様々な視点や価値観を持つ学内外の方々と関わる機会が多くあります。多様な意見や考え方に触れることで得られる学びや気づきを大切にしながら、一人ひとりが安心して学び、働ける環境づくりに貢献できるよう、日々の業務に取り組んでいきたいです。

### 池田 遥奈

（総務課 庶務係）

総務課職員として、一人ひとりのライフステージや価値観を尊重し合える職場環境づくりに努めたいと思います。子育てや介護等の各種制度を「使いにくいもの」ではなく「当たり前に使えるもの」として根付かせるためにも、教職員の多様な働き方を後押ししていきたいです。

### 小野 雅恵

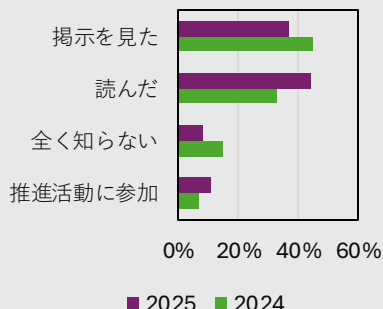
（学務課 学生係）

ひびきのキャンパス学生係は、学生支援を担当している部署のため、日々、多くの学生が様々な理由で訪れます。学生はそれぞれ多様な背景を持っていることを意識し、学生の声に耳を傾け、学生が安心して相談できる環境づくりを心掛けながら、業務に携わっていききたいと思います。

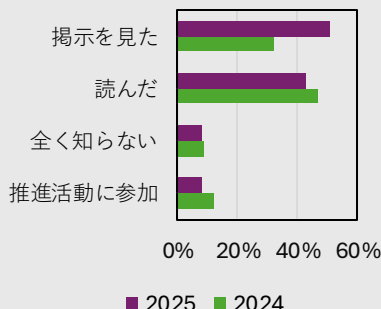
## ダイバーシティ推進認知度調査 結果報告

6/24～7/16にかけて実施した「ダイバーシティ推進認知度アンケート」の結果をお知らせします。職員180名、教員154名、学生568名から回答をいただきました。本学のダイバーシティ宣言については昨年度と比較すると、認知度が上昇傾向にあります。学生については、回答者の多くが1年生であったこともあり、ダイバーシティ宣言や推進活動についての認知度は低い傾向にありました。引き続き、本学におけるダイバーシティの取り組みについて周知を図っていききたいと思います。

ダイバーシティ宣言 認知度  
（職員）



ダイバーシティ宣言 認知度  
（教員）



ダイバーシティ宣言 認知度  
（学生）

